

# 子育て支援の拡充を

## 〔答〕 保育料段階的無料化を検討

藤井 「住みやすい」「産みやすい」「育てやすい」、そういう環境

実現には、待機児童解消、就学援助拡充、給食費助成、保育所の無料化などの子育て支援の拡充が望まれます。

子育てをしている親、一人一人の状況を見極めた、負担軽減施策に取り組みませんか。

**町長** 合計特殊出生率を2・1に上昇させることを目標とし、少子化及び子育て支援策の一層の充実を図ること、他市町村との差別化を図り、安心して子

育てができるよう、現在

在実施している経済的負担軽減策のほか、今後、保育料の段階的無料化の検討や、子供の貧困対策を含め、子育て世代に寄り添う施策の拡充を図ります。

**教育長** 新たな負担軽減策として、待機児童の解消に優先して取り組みつつ、保育料無料化の段階的な実施に向けた検討を深めます。保護者の負担軽減策

として、給食費無料化

も近隣市町村の実施状況を継続調査しながら、総合的に検討します。

平成30年度以降のあさひ保育園の民営化で生じる財源で、新生児、乳幼児に対する子育て支援策の充実や、子育て世代包括支援センターの設置など、子供の貧困に関する教育、経済、生活、就労支援策を充実させます。



ふじい せいしち 藤井 精七 議員



あさひ保育園の通園の様子

町政を問う(一般質問)

# 特別養護老人ホームの開所を望む

## 〔答〕 民間参入で平成31年度中に開設目標



特別養護老人ホーム(イメージ)

藤井 特養ホームの施設は、暗い海を照らす灯台の明かりです。

やはり人は弱い、そういう立場を常に行政に持ってもらいたい。

介護を続ける家族の悩み、苦しみを置き去りにしないためにも、特養ホームの開所が望まれますが、今後の取り組みを伺います。

**町長** 当初の選定事業者の取り消しにより、平成28年9月26日から10月25日まで、整備予定事業者の再公募を行いました。応募がなく、やむを得ず第6期介護保険事業計画期間内での整備は取りやめ

ました。

今後は平成29年度に整備予定事業者を公募、選定し、平成30年度に事業着手、平成31年度中に開設で、次期介護保険事業計画の中の、検討を進めたいと考えます。

町としての整備については、現時点では建設費や運営コストなどで、矢吹町ではそうした財政的な環境になく、あくまでも民間の参入を進めていきたいと考えています。

その他の質問事項  
・国保事業の県移管について